

大人向け

# おはなしの集い

好きな本を朗読してみませんか？

東日本大震災から1年。災害における意識が大きく変わった2011年。今回は、日本において津波に関する物語のうち広く知られた作品のひとつでもある逸話「稲むらの火」を読み解きます。

## 「稲むらの火」

村の高台に住む庄屋の五兵衛は、地震の揺れを感じたあと、海水が沖合へ退いていくのを見て津波の来襲に気付く。祭りの準備に心奪われている村人たちに危険を知らせるため、五兵衛は自分の田にある刈り取ったばかりの稲の束（稲むら）に松明で火をつけた。火事と見て、消火のために高台に集まった村人たちの眼下で、津波は猛威を振るう。五兵衛の機転と犠牲的精神によって村人たちはみな津波から守られたのだ。－抜粋－

日時：平成24年3月28日(水) 14時～15時

※4月以降は第4水曜日を予定しています

場所：新橋地域ケアプラザ 地域ケアルーム

内容：①参加型朗読会

(今回は地域のボランティアさんが作品の解説と朗読をしてくれます)

②おしゃべり会

定員：8名 先着順

申込：新橋地域ケアプラザ 地域活動交流

☎813-3877

皆さんの参加お待ちしております。



いろいろな方が  
来てくれると  
嬉しいな♪

